

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月24日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 会議室
- 4 参加者
委員長 山田 雄治 朝日大学経営学部 教授
委員 加藤 正博 大垣市開発町 自治会長
近藤 伸子 和合地区 民生委員
市原 小百合 本校PTA 副会長
池戸 美奈子 本校PTA 会計監査
箕浦 之治 大垣観光協会 理事
石坂 信一郎 岐阜協立大学 副学長
山田 康雄 大垣西ロータリークラブ
正田 嗣文 大垣ビジネスサポートセンター センター長

学校側 佐野 浩 校長
野々山 伸一 副校長
岡戸 邦仁 教頭
林 孝美 教頭
伊藤 由美子 事務部長
瀬瀬 サオリ 教務主任(全日制)
井村 仁美 教務主任(定時制)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 高等学校における三つの方針スクール・ポリシー(案)について

意見1: 学習指導要領に則り作成すべきものなのか。

⇒ 学校教育法施行規則の一部改正に伴い、新学習指導要領を踏まえ作成している。特に、カリキュラム・ポリシーにおいて、新学習指導要領「商業」では、地域や産業界等と連携した実験・実習などの実践的、体験的な学習活動の実施が求められていることを反映している。

意見2: スクール・ポリシーの対象は誰か。中学生でも分かりやすい表現がよいのではないか。

⇒ 対象は、在校生、中学生、地域の方を対象にしている。特に、新学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」を踏まえ、学校は、地域と連携・協働しながら特色ある学校づくりを目指している。中学生への説明には、学校パンフレットに図などで表記するなど、分かりやすい表現にしていきたい。

意見3: 授業を参観して、これだけICTを活用した授業が推進されているのであれば、「ICTを用いた授業」という言葉を追加してはどうか。

意見4：考える力を育成するには、説明の中にもあったインプットした知識・技術をそのままアウトプットするのではなく、思考等をプラスしていくことが大切である。考える力をどのように育成するかについて、その取組を具現化するとよい。

意見5：説明の中にあつたPDC Aサイクルは、企業経営においても大切なことである是非、高校においても、企業経営と同じ方向性で取り組んでほしい。また、現在は、価値観が多様化しており、価値観の変動への対応が求められている。その中において、答えが一つでないことの多い社会への対応がなされていることはよいことである。

意見6：グラデュエーション・ポリシーに記載されている「地域を支えるために行動ができる生徒」という表現はとてもありがたい。現在の高校生は、そのような考えを持っているのか。

⇒ 生徒たちは、地域をテーマに探究活動に取り組んでいる。このような取組から、地域への意識は高まっていると考えられる。

意見7：定時制のアドミッション・ポリシーに、「休むことなく登校し」とあるが、抵抗がある生徒もいるかもしれない。

⇒ 生徒の自立を促す文言を検討していきたい。

(2) 地域と連携した教育活動の改善点と今後の取組

意見1：岐阜県教育ビジョンの中に、地域社会人という言葉が打ち出されている。本校のアピールポイントとして、地域と連携・協働した取組を推進しながら、地域を盛り上げ、地元を好きになってくれる生徒が増えることを期待している。

本日、生徒から養老鉄道、樽見鉄道の取組について発表があったが、実際に地域を舞台にした取組を体験させることで、スクール・ポリシーの具現化にもつながる。

意見2：大垣市は、16万の人口で上場企業が8社ある。このような市は珍しい。地元の良いところを知る取組や、さらに良い街づくりにつながる取組に努めてもらいたい。

意見3：現在の取組を通して、将来地元に戻ってきてもらいたい。メディア等を活用して、学校での取組を発信することで、生徒が地域の方とコミュニケーションを取りやすくなる。地域の方や企業の方とコミュニケーションを取る機会が増えることで、地元で活躍したいと思う生徒も増えてくるのではないかな。

意見4：来年度は本校がインターアクトの年次大会のホスト校である。約400名の参加者を招き、大会を運営する。この大会を活用して、生徒たちが考える力、実行力及びチーム力を高められる取組になるよう支援していきたい。

(3) 県立学校体育施設開放について

意見1：現在、地域の方から体育施設使用の要望はない。地域の要望があれば学校に伝えるようにする。

(4) その他

意見1：タブレットが故障した生徒に、臨時に貸与できるタブレットがあるとよい。

意見2：ICT教育が推進されている。この教育を通して、学力向上につなげてほしい。

意見3：愛校心を育むものの一つに校歌がある。しかし、コロナ禍において、校歌を歌うことができない。愛校心を育む取組が必要である。

意見4：階段や廊下がきれいである。引き続き、安全で、清潔な学校に努めてほしい。

6 会議のまとめ

- ・スクール・ポリシー（案）を示し、説明を行った。今回出された委員の意見をもとに修正し、第3回学校運営協議会で説明していきたい。
- ・スクール・ポリシー（案）を踏まえた地域連携の在り方について、様々な立場から意見が得られた。今後の学校運営やふるさと教育推進の参考としていきたい。